

第1回 多摩川水系河川整備フォローアップ委員会  
議事要旨

1. 日時 令和4年11月29日(火) 10:00~12:00

2. 場所 京浜河川事務所 第1会議室 WEB併用開催

3. 出席者(敬称略)

委員長 知花 武佳 東京大学大学院工学系研究科准教授

委員 手塚 広一郎 日本大学経済学部学部長

星野 義延 東京農工大学農学部功績教員

(五十音順)

4. 議事

- 1) 多摩川水系河川整備計画の点検について
- 2) 事業再評価について
  - ・多摩川直轄河川改修事業
- 3) 多摩川における河川整備の効果について(水害リスクの評価(試行))

5. 内容

1) 多摩川水系河川整備計画の点検について(資料-3)

- ◇ コスト縮減(p30)については、発生した土砂やコンクリートをどう使っていくか、どう処理するかが非常に重要である。事例以外にも実施していることがあれば説明いただきたい。(手塚委員)
- 工事によって発生した土砂は基本的に築堤などに有効活用している。京浜河川事務所内の工事間だけではなく、道路事務所等とも協力して有効活用を図っている。(事務局)
- ◇ 発生した土砂の再利用は、発生した場所と必要な場所で決まると思われるが、そこはどう考えているのか。(知花委員長)
- 掘削・浚渫した土砂は築堤に使える状態であれば築堤土として再利用し、使えない状態であれば埋立等で処分といった形にならざるを得ない。掘削した場所にもよるが、あまりにも遠く離れた所に持っていても運搬費がかなりかさんでしまうため購入したほうが安いといった場合もある。そこについては経済比較により決めている。(事務局)
- ◇ 流下能力図(p25)の見方として黄緑色(HWL評価)が見えてるところは、幅なり高さなりが足りない区間で、逆に白いのが赤線に食い込んでるのは堤防としては完成しているが、河床が高過ぎたり、草木が多かったりして流下能力がない区間という理解で良いか。(知花委員長)

- 認識のとおりである。(事務局)
- ◇ 点検という意味では重要なページ (p25) であると理解してよいか。(手塚委員)
- 認識のとおりである。(事務局)
  
- ◇ 14 ページについて治水・利水・環境のそれぞれの目標のうち、利水はどの枠組みでやるのか。実際にやるのは自治体だったり、市民だったり、あるいはひとりひとりだったりすることから、国の役割を書いた方がいい。実際にやるとなると、様々な枠組みが考えられ、自治体の支援や、水流実態解明の企画等、市民活動をサポートしていくようなところが国の役割と思う。(知花委員長)
- 記載方法については検討する。(事務局)
  
- ◇ 20 ページにある機能空間区分の検討は引き続き検討していくという認識で良いか。(知花委員長)
- ◇ 認識のとおりである。(事務局)
  
- ◇ 7 ページを見ると橋梁のところはネックになっている。堤防整備や河道掘削と違い、橋梁はなかなか国だけで出来るものでもない。(知花委員長)
- ◇ 令和元年東日本台風の日野橋を見ると、基盤に心配なところがある。日野橋の通行量が多いときに落ちていたら大変なことになっていた。多摩川にたくさんある橋梁をいったいどこから着手していくのか、プランはあるのか。(知花委員長)
- 河川阻害以外にも、基盤についても橋梁管理者へ情報提供している。(事務局)
- ◇ 全体を見たときに、どこからどのように改修を進めていくのかを考えておくようお願いしたい。(知花委員)
  
- ◇ 点検結果の案について、異議はない。特に、気候変動による降雨量の増加などを考慮した河川整備基本方針の改定後、河川整備計画の変更を速やかにお願いしたい。二次災害リスクの増大に備えるための連携の強化についても是非お願いしたい。その際にはリスクマップ等の情報共有は重要だということを改めて申し添える。(手塚委員)
- ◇ このまとめでよい。(星野委員)
- ◇ 委員の皆様から異議なしとのご意見をいただいた。(知花委員長)

## 2) 事業再評価について (資料-4)

- ◇ B/Cが1を上回るかをハードル・レートとして考えている。19.8 という値が適切な手続きをもって算定されているということである限り、問題がない、と考える。(手塚委員)
- ◇ コスト縮減が重要と考えている。新しい仕組みでさらに縮減出来るようになれば、それはなお望ましいということ、引き続きご努力頂きたい。(手塚委員)
- コスト削減は非常に重要、常に意識しながら、事業を進めているところである。(事務局)

- ◇ B/Cで1をハードル・レートと言う理由は、1を上回ること、それよりも大きな潜在的な便益が生じている可能性があることを示していることによる。(手塚委員)
- ◇ 対応方針原案が妥当ということで、この委員会の意見として、まとめてよいか。(知花委員長)
- ◇ 異議無し(手塚委員、星野委員)

### 3) 多摩川における河川整備の効果について(水害リスクの評価(試行))

- ◇ 想定最大規模の設定方法は、日本全国を15ブロックに分けて、このブロックの中で過去一番大きな降雨を使うか、それがあまりに低すぎる場合は1/1000くらいを使うという理解でよいか。(知花委員長)
- 認識のとおりである。(事務局)

以上